

災害・感染症に係る看護職員等確保事業
令和6年度 災害支援ナース養成研修 実施要綱

1. 目的

災害支援ナース養成研修は、災害支援看護業務^(※1)及び新興感染症支援看護業務^(※2)に関する知識及び技能を修得することを目的とする。

※1 災害支援看護業務とは、被災地の医療機関等に応援派遣されて実施する看護業務、救護所での診療及び避難所での巡回診療における看護業務、避難所の環境整備及び公衆衛生管理、被災者の心のケア等をいう。

※2 新興感染症支援看護業務とは、新興感染症が集中的に発生した医療機関等や新興感染症の感染拡大地域に所在する医療機関等に応援派遣されて実施する看護業務等をいう。

2. 実施主体

厚生労働省医政局が研修を実施する。

日本看護協会が、厚生労働省から委託を受け、災害支援ナース養成研修の企画、オンデマンド研修を実施する。

岡山県看護協会は、研修修了者のリスト化により今後の新興感染症及び災害発生に際して、都道府県において迅速に看護職員等の確保を図るため、日本看護協会から委託を受けて演習（集合研修）を実施する。

3. 研修方法

- 1) オンデマンド研修 （日本看護協会のeラーニング配信による研修）
- 2) 集合研修 （講師、演習指導者による講義と演習）

4. 対象者

- 1) 災害及び新興感染症の発生時に他の医療機関等に応援派遣されて、災害支援看護業務及び新興感染症支援業務に従事することを目指す者

※すべての看護職を対象とするため、勤務する医療機関において、改正医療法における「災害・感染症医療業務従事者」として配置される予定の者を優先的に受け付ける

- 2) 研修修了後に修了者として、厚生労働省と県行政及び日本看護協会への情報提供に同意する者。

5. 研修の構成・時間数について

【オンデマンド研修】	総論（講義）	A	2 時間		4 日間
	災害各論（講義）	B	9 時間	免除規程あり ※1	
	感染症各論（講義）	C	9 時間	免除規程あり ※2	
【集合研修】	講義		1 時間		2 日間
	災害（演習）	D	4.5 時間		
	感染症（演習）		4.5 時間		

免除規程について

オンデマンド研修の一部を免除される場合がある。免除対象であっても希望があれば受講可。

※1 原則として、令和4～5年度の災害支援ナース登録者のうち、令和2年度～令和4年度の間に旧「災害看護【基礎編】」を修了している者

※2 「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業実施要綱」（令和4年1月28日医政発 0128 第10号）に基づく新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成事業の研修のうち重症者対応研修を受講した者で、研修の修了を証明できる者

6. 各研修の開催予定と定員について

年度内に全てのプログラムを修了すること

（原則、年度をまたいでの受講や一部プログラムのみ受講はできません）

1) オンデマンド研修（図A～C） 定員 60 名

日本看護協会提供のオンデマンド研修を受講（受講用IDを受け取った日から受講可）

受講期間：9月2日（月）～10月6日（日）

※ 10月6日までに各自修了証を発行すること（両日程共通）。修了後も当面の間繰り返し視聴可能

※ オンデマンド修了証がない場合は集合研修を受講できない

2) 集合研修（演習・図D） 各日程 定員 30 名

【A日程】 令和6年10月16日（水）、10月17日（木）

【B日程】 令和6年11月21日（木）、11月22日（金）

いずれも9：30開始、終了時間の目安はプログラム参照

3) 会場： 岡山県看護会館

7. 申し込みについて

1) 申込期間 令和6年7月1日(月)～7月16日(火) 必着

2) 受講料 無料

3) 申込方法

「災害支援ナース養成研修受講申込書」(様式1)に必要事項を記載し、管理者または責任者が取りまとめて「令和6年度災害支援ナース養成研修 申込者確認用」(様式2)を添え、岡山県看護協会あてに郵送で申し込む。複数人で申し込む場合は、優先順位を明記してください。

(所属施設の看護協会への登録の有無に関わらない)

※ 様式1および様式2は、岡山県看護協会ホームページからダウンロードできます。

(1) 所属施設が医療機関の場合

看護管理者を通じて、施設単位で申し込む

(2) 所属施設が医療機関以外の場合

部門長を通じて申し込む

(3) 所属施設がない場合(潜在看護職等)

個人で申し込む

災害各論・感染症各論のオンデマンド免除対象者は、受講証明書のコピーを添えてご提出ください。

※「災害看護【基礎編】」の受講証明書は、看護協会員であればキャリアナースから取得可能。

8. その他

1) 申込締切後は事務局で調整を行い、8月上旬に受講の可否を看護管理者様あてにお送りします。また、受講決定者には、集合研修の日程および受講者への連絡事項をお送りします。

2) オンデマンド研修受講用のIDとパスワードは、記入いただいた受講生の個別メールアドレスあてに8月下旬に送信します。

・IDの共有はできませんので、必ず1人につき1つのメールアドレスをご用意ください。

6. 申込先・問合せ先

公益社団法人岡山県看護協会 災害支援ナース養成研修担当

〒700-0805 岡山市北区兵団4番31号

TEL: 086-226-3638 FAX: 086-226-1157

メール: mail@nurse.okayama.okayama.jp (代表)

災害・感染症に係る看護職員等確保事業
災害支援ナース養成研修

研修目的	1. 災害・感染症等に関する基礎知識・技術を習得する。 2. 派遣の概要を理解し、研修修了者として実際の派遣時に対応できる技能を習得する。 【災害】 1. 看護職として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する。 2. 災害時の看護職の役割と活動の実際を理解する。 3. 看護職として、被災地や被災者に対して有効に機能できる技能を習得する。 4. 災害時に看護職として他者と協働でき、自律した活動ができる知識を習得する。 【感染症】 1. 新型コロナなど新興感染症に関する基礎的知識を習得する。 2. 新型コロナなど新興感染症患者に対応できる知識・技術を習得する。 3. 酸素療法、集中治療管理に関する基本知識を習得する。 4. 新型コロナなど新興感染症患者の看護に関する基本知識を習得する。
対 象	災害・感染症に係る派遣対応看護職員を目指す者 ※所属の医療機関において、災害支援ナースとして配置される予定の者を優先
研修時間	6 日間 { 講義（オンデマンド）4 日間：総論 120 分／災害各論 540 分／感染症各論 540 分 演習（集合研修） 2 日間：講義 60 分／災害 270 分／感染症 270 分

講義（オンデマンド）【2023 年制作】 ※収録時の講師の所属・職位を記載

章	単元／主な内容	講師（所属等）※敬称略	視聴時間
1	【総論】 災害・感染症に係る派遣の対応	鎌田 久美子 （公益社団法人日本看護協会）	120 分
2	【各論（災害）】 災害医療の基礎知識 ・災害とは ・わが国の災害医療体制	小井土 雄一 （国立病院機構本部 D M A T 事務局）	180 分
3	災害時に求められる看護支援活動 ・災害看護とは ・災害時保健医療福祉活動における看護 ・災害の場に応じた看護支援活動 ・災害時要援護者の特徴と看護	石井 美恵子 （国際医療福祉大学大学院）	150 分
4	災害時の感染対策 ・災害時に注意すべき感染症とその要因 ・避難所における感染症のリスクアセスメントの考え方 ・避難所における感染症対策の例（複合災害時の対応等を含む）	山本 由紀子 （地方独立行政法人市立秋田総合病院 感染管理認定看護師）	60 分

章	単元／主な内容	講師（所属等）※敬称略	視聴時間
5	災害時の心理的变化とこころのケア ・被災者に生じやすい心理的問題 ・被災者に接する際の基本的留意点 ・わが国の災害精神医療体制（DPAT 含む） ・支援者の惨事ストレスとケア（事例含む）	河 嶋 譲 （国立病院機構本部 D M A T 事務局）	90 分
6	災害時の看護職の活動事例 ・派遣された看護職の活動事例 ・活動場所で直面する様々な状況	岡 崎 敦子 （独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 災害看護専門看護師）	60 分
—	災害 確認テスト	10 問	—
7	【各論（感染症）】 新型コロナなど新興感染症の基礎知識 ・新興感染症／パンデミック ・新興感染症等の感染拡大時における医療提供体制の確保	大 曲 貴夫 （国立国際医療研究センター 国際感染症センター長・感染症内科医長）	60 分
8	新型コロナなど新興感染症の基礎知識 1）感染拡大・重症化を防ぐ技術の提供に必要な知識 ・手指衛生 ・PPE（個人防護具）の種類や着脱等 ・ゾーニング ・環境整備・廃棄物・寝具・食器の取り扱い ・死亡時の対応 2）院内感染発生時の初期対応・クラスター発生予防の対策	美 島 路恵 （東京慈恵会医科大学附属病院・感染対策部 感染管理認定看護師）	60 分
9	新型コロナなど新興感染症患者の治療と観察ポイント （軽～中等症）	小 倉 高志 （神奈川県立循環器呼吸器病センター所長）	60 分
10	新型コロナなど新興感染症患者の看護（軽～中等症）① （医療機関と在宅・宿泊療養を含める） 1）重症化予防のための患者評価と対応 ・緊急性の判断と急変対応 ・重症化予防 ・異常の早期発見 ・患者家族への精神的ケア ・医療機関と在宅・宿泊療養での対応の特徴	杉 本 環 （日本看護協会認定看護師教育課程 救急看護認定看護師）	60 分
	2）重症化予防のための患者評価と対応（軽～中等症）② （医療機関と在宅・宿泊療養を含める） ・酸素療法 ・呼吸理学療法 ・体力の消耗を最小限にするための患者への生活指導	富 阪 幸子 （日本看護協会認定看護師教育課程 クリティカルケア認定看護師）	60 分

11	新型コロナなど新興感染症患者の集中治療管理（重症）	則末 泰博 （東京ベイ・浦安市川医療センター救急集中治療科・集中治療部門部長・呼吸器内科部長）	60 分
12	新型コロナなど新興感染症患者の看護（重症） 1）生命維持装置の管理 ・ネーザルハイフロー、人工呼吸器、ECMO,CHDF（＊1）等	三木 隆弘 （日本大学病院）	60 分
	2）人工呼吸器管理、ECMO 管理における看護	濱本 実也 （公立陶生病院・集中ケア認定看護師）	60 分
	3）重症患者家族への精神的なケア ・隔離による不安、意思決定支援、看取り 等	立野 淳子 （小倉記念病院看護部クオリティマネジメント科科长 急性・重症患者看護専門看護師）	60 分
－	感染症 確認テスト	10 問	

＊1：体外式膜型人工肺（ECMO）、持続緩徐式血液濾過透析（CHDF）

災害・感染症に係る看護職員確保事業 災害支援ナース養成研修

【演習1日目（災害）】

時間	単元	学習内容	講師、演習支援者
9:30 (5分)		オリエンテーション等	
9:35 (50分)	1. 【講義】岡山県における災害・感染症にかかる派遣時の看護支援活動		
	災害・感染症にかかる派遣時の看護支援活動	・岡山県の災害・感染症に係る派遣・医療提供体制の状況や対策（派遣の仕組み・登録含む） ・岡山県看護協会における災害・感染症に係る派遣時の看護支援活動	立石 恵美子 （岡山県保健医療部医療推進課） 武田 利恵 （岡山県看護協会）
10:25 (10分)	災害支援ナースとしての心構え（支援側・受援側の立場の理解）		武田 利恵 （岡山県看護協会）
10:35 (45分)	2. 【演習】災害時の看護職の活動の実際		田村 幸二 （心臓病センター榊原病院） 【演習支援者】 藤井 絵美 （岡山市立市民病院）
	1) 派遣決定から出発までの準備	【ワーク】 ・派遣決定までの調整と準備 ・派遣決定から出発までの準備 ・携行品、活動の原則	
11:20～11:30 (10分)		休憩	大村 正行 （薬師寺慈恵病院）
11:30 (15分)	2) 支援者としての心構え		宮本 幸子 （渡辺病院）
11:45 (45分)	3) 活動場所の違いによる活動の特徴（医療機関・避難所）		山田 幸子 （落合病院） 瀬浪 典子 （岡山大学病院）
12:30～13:15 (45分)		昼休憩	
13:15 (40分)	4) 災害医療対応の原則	【ワーク】 ・安全管理	田村 幸二 （心臓病センター榊原病院）
13:55 (130分)	5) 方針に沿った活動	【ワーク】 ・救急搬送や発熱者等の対応 ・新たな活動を依頼されたら ・記録と報告 ・活動終了に向けて ・帰還後に行うこと	【演習支援者】 藤井 絵美 （岡山市立市民病院） 大村 正行 （薬師寺慈恵病院） 宮本 幸子 （渡辺病院） 山田 幸子 （落合病院） 瀬浪 典子 （岡山大学病院）
	10分間の休憩を含む		
16:05 (5分)	まとめ		

16：10	事務連絡等		
-------	-------	--	--

※ 研修の進捗等により、時間は前後することがあります。

【演習講師、演習支援者】

氏名	所属	役職等
立石 恵美子	岡山県保健医療部医療推進課	参事
武田 利恵	岡山県看護協会	常務理事
田村 幸二	心臓病センター榊原病院	感染管理認定看護師 災害支援ナース育成研修企画・指導者研修修了 令和5年度災害支援ナース養成研修(災害編)講師 災害支援ナース
大村 正行	薬師寺慈恵病院	クリティカルケア認定看護師 DMAT 隊員 災害支援ナース養成研修企画・指導者研修修了 災害支援ナース
藤井 絵美	岡山市立市民病院	クリティカルケア認定看護師 DMAT 隊員
宮本 幸子	渡辺病院	災害支援ナース
山田 幸子	落合病院	災害支援ナース 健康危機対策支援委員
瀬浪 典子	岡山大学病院	災害支援ナース養成研修企画・指導者研修(災害)修了 健康危機対策支援委員 DMAT 隊員

災害・感染症に係る看護職員確保事業 災害支援ナース養成研修

【演習 2 日目（感染症）】

時間	単元	学習内容	講師、演習支援者
9：30 (5 分)	今日の演習等についてオリエンテーション 注意事項、連絡事項		看護協会
9：35 (40 分)	3. 【演習】 感染拡大時の看護職の活動の実際 1) 多職種連携 による医療提供	派遣時の心構えや派遣先での適切な行動を学ぶ 【ワーク】 事例を通して、派遣時の活動の原則、派遣先での指揮命令 系統の確認、医療機関以外での多職種連携の留意点を学ぶ	大村 正行 (薬師寺慈恵病院) 【演習支援者】 菅田、岩元、池本、 井上、柳田
10：15 (40 分)	2) 患者・家族 へのケア（看取 り・死亡時のケ ア含む）	【ワーク】 事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、看取りケ ア、死亡時の対応、未知の感染症に罹患したご遺体への対応	岩元 美紀 (岡山市立市民病院) 【演習支援者】 菅田、池本、大村、 井上、柳田
10：55 (60 分)	3) 感染拡大・ 重症化の予防	①ゾーニングを体験し、ゾーニングの考え方の基本や留意点 を学ぶ 【実技】 ゾーニングの実施、派遣先でゾーニングの実施を求められた 場合の対応と留意点	菅田 節子 (岡山旭東病院) 【演習支援者】 大村、池本、岩元、 井上、柳田
11：55	昼休憩（60 分）		
12：55 (60 分)		②个人防护具の着脱を体験し、標準予防策の基礎を学ぶ 【実技】 ・个人防护具の着衣が正しく行える ・医療機関以外の場所が想定できる	柳田 大輔 (倉敷成人病センタ ー) 【演習支援者】 菅田、大村、池本、 岩元、井上
13：55 (60 分)	2) 安楽な呼吸 を保つための看 護	个人防护具を装着したまま安楽な呼吸へのケアを経験する 个人防护具の脱衣が正しく行える 【実技】 ・个人防护具を装着したままでケアを経験する ・个人防护具の脱衣が正しく行える	池本 信洋 (川崎医科大学附属 病院) 【演習支援者】 菅田、大村、岩元、 井上、柳田
14：55 (10 分)	まとめ		講師
15：05	事務連絡等	2 日間のまとめ アンケート等記載 修了証配布 その他事務的な連絡	看護協会

※ 研修の進捗により、時間は前後することがあります。

【講師、演習支援者】

氏名	所属	役職等
菅田 節子	岡山旭東病院	感染管理認定看護師
大村 正行	薬師寺慈恵病院	クリティカルケア認定看護師 災害支援ナース養成研修企画・指導者研修修了 災害支援ナース
池本 信洋	川崎医科大学附属病院	クリティカルケア認定看護師
岩元 美紀	岡山市立市民病院	クリティカルケア認定看護師
井上 富弥江	津山第一病院	感染管理認定看護師 災害支援ナース
柳田 大輔	倉敷成人病センター	感染管理認定看護師 災害支援ナース企画・指導者研修（感染症）修了 災害支援ナース 健康危機対策支援委員